

# つみきのくらし

NO.40

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

新年度を迎え、新しい環境で子どもたちはいろんな場面で今までとの違いを感じながら自分たちの過ごしやすい場所を探したり、安心できる大人との関係を築こうとしているように感じます。同じように大人たちも、子どもたちが今何に興味があるのか、遊びや友達との関わり、生活の様子などを観察し話し合いをしながら、子どもたちが自ら遊びたくなる環境、集中して何かに取り組みたいと思える環境、ゆったり居心地のいい環境を試行錯誤しながら今の子どもたちに合った環境作りを頑張っています。5月は参観日やクラス懇談会がありますので、保護者の皆さんに子どもたちの日常生活や遊びの姿をご覧いただけたらと思います。



## 遊びを見守る



先日、ホールに年長さんがカプラを使って高い塔を作っていました。自分たちの背丈ほどの高さになると、一緒に積み上げる子、ぐらつきや傾きを指示する子、近くで様子を見ている子など参加の仕方はそれぞれですが、たくさんの子がカプラの塔を見守っていました。緊張感が増す中高さは167cm!「どうする?もう少しやる?」お部屋へ移動する時間が迫り、決断のときがきました…。



## 決めるのは、自分たち

「このまま残しておく?」「小さい子こわしたらあぶないよ」「壊されてがっかりするなら自分たちで壊そう」「そうだね」いろんな子が意見を出して自分たちで壊す決断をしました。なかなかの出来だったので、写真の残しておきました。

## モノを大切にすると

園長から子どもたちに、「どうしてモノを大切にするのだろう」という問いから話が始まりました。



みんなで使うものは大切なお金で買っているんだよ。大切に扱うことでずっときれいな状態でいられるね。ポロポロだと悲しい気持ちになるね。(生活の中で使ったら戻す、整えるに発展していくといいな)

「モノを大切にすると」その意味が分かるには個人差があります。経験の個人差です。自分の身の周りで不意にモノを壊してしまったことで感じる罪悪感決して悪いことではなく、この経験をしないよう次の同じような場面で気をつけるようになります。また、この経験をした子は他の子にアドバイスすることもできます。「なぜ大切にすると?」「ルールだから」ではなく大切にすることの意味を定期的に伝えることが大切だと日々感じています。

